

銅谷賢治博士が 2009 年度「創造性研究褒賞」を受賞

OIST 代表研究者の銅谷賢治博士が、[NPO 法人ニューロクリエイティブ研究会](#)の 2009 年度「創造性研究褒賞」を受賞しました。

NPO 法人ニューロクリエイティブ研究会は、脳と創造性に関する研究と技術の向上及び関連の研究開発を目指しており、事業内容のひとつである「脳と創造性に関する研究に対する褒賞」において、過去 5 年以内の研究成果の中から「脳と創造性」に関する基礎的な研究、または創造性に関する脳科学技術の向上に役立つ研究で、内容が独創的なものに毎年 1 件、「創造性研究褒賞」授与しています。

去る 2 月 15 日の選考委員会(委員長:理化学研究所甘利俊一博士)にて厳重な審査が行われ、銅谷博士の数理科学、ロボット工学、計算論的神経科学、システム生物学などの各分野を融合した研究アプローチが大変ユニークですばらしく、同会の目的とも合致すると認められ、2009 年度の「創造性研究褒賞」受賞の決定がなされました。

3 月 24 日に科学技術館(東京)で開催された第 3 回フォーラムで授賞式が行われ、同研究会の多根伸彦理事長より銅谷博士に賞状が授与されました。



授賞式の様子



銅谷博士による受賞スピーチ



多根理事長(一番左)、甘利審査委員長(中央)、他の受賞者の方々と

1991	東京大学大学院工学系研究科 博士（工学）	
1991～1993	カリフォルニア大学サンディエゴ校生物学科 客員研究員	
1993～1994	ハワードヒューズ医学研究所およびソーク生物学研究所 研究	
1994～1996	ATR 人間情報通信研究所 主任研究員	
1995～2006	奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 客員助教授	
1996～1999	科学技術振興事業団川人学習動態脳プロジェクト 計算神経生理グループリーダー	
1999～2005	科学技術振興事業団戦略的基礎研究推進事業「脳を創る」領域 メタ学習と情動コミュニケーション 研究代表者	
2003～	ATR 脳情報研究所 計算神経生物学研究室 室長	
2004～2005	（独）科学技術振興機構 大学院大学 先行研究プロジェクト 神経計算ユニット 代表研究者	
2005～	（独）沖縄科学技術研究基盤整備機構 大学院大学先行研究プロジェクト 神経計算ユニット 代表研究者	
2006～	奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 客員教授	
2007	第3回日本学術振興会賞	
2007	第21回塚原仲晃記念賞（ブレインサイエンス振興財団）	

銅谷賢治博士